

「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」企画、座談会の取材について

2017/10/06

10月4日（水）、本学University Commons re-Act（ユニバーシティ・コモンズリアクト）南館2階の大阪商業大学アントレラボ※1で高校生が自由な発想でビジネスアイデアを提案する「ビジネスアイデア甲子園」（大阪商業大学、毎日新聞社主催）をより多くの方に知ってもらうために、谷岡学長と本学学生とで「ビジネスアイデアの魅力について」語る座談会を実施しました。

今回この座談会に参加した学生は、ラボカフェ※2（学生勉強会）に参加している5名の学生です。



毎日新聞社の記者が取材する中、本学教員である柴田先生（経済学部 准教授）の司会により進められ、始めは少し緊張した様子だった学生達も、質問を重ねるごとに緊張がほぐれ、自分の体験を自分の言葉でひとつひとつ丁寧に答えていました。谷岡学長も学生達の話に熱心に耳を傾けていました。

時折笑いも起こり、終始和やかな雰囲気での座談会が実施できました。



この様子は11月中旬の毎日新聞大阪本社版（朝刊）に掲載される予定です。

学生達からコンテストに取り組む高校生へ向けたメッセージも掲載予定ですので、是非ご覧ください。

※1 大阪商業大学 アントレラボ

アントレプレナーシップと起業家的な資質・能力を持った人材を育成するため、学生たちの自主的な取り組みを行う場として設けられています。アントレラボに入居している起業家の活動やその志に触れ、実際に交流しながらそれらを身近に体感できる場所として位置付けています（利用対象は本学学生に限ります。また利用するには審査が必要です）。

※2 ラボカフェ

アントレラボで活動する学生を中心に講義時間外に、自分たちで設定した課題・目標に向けた活動を通じて、自主的・自立性（意欲・態度・自己管理能力）、協調性（人間関係形成・社会形成能力）、倫理的思考力や想像力を養うことを目的として昨年度から毎週水曜日の昼休みの時間帯に、参加学生と起業教育委員会担当教員が、食事を取りながら各自が取り組む外部コンテスト応募案の発表や最新のビジネス・流行など、興味関心と必要性に応じた話題についてディスカッションを行っています。